

学院部「歎異抄」山本攝叡

年間を通して、『歎異抄』の講読をします。『歎異抄』はどのような書物なのか。まず第一に、構成や内容の概略を考えます。少し踏み込んで、従来考えられてきた構成は正しかったかの検討もしてみたいと思います。その後、時間の許す限り講読に入ります。一年間で「意義条々」まで読み終えることは難しいですが、いくつかは取り上げることも出来ると考えています。